

小学校 1年

正しい字の形に気をつけて書こう

大阪狭山市立南第二小学校

教科	国語	単元名	かん字のかたち
----	----	-----	---------

本時のねらい

漢字の外形に気を付けて、ていねいに書く。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

友だちの書いた文字をカメラで撮って相互評価することにより、外形を意識して書くことと整った文字を書くことができることを理解する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・テレビ
- ・iPad
- ・Apple TV
- ・マイシード (オクリンク)
- ・パワーポイント

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習でひらがなの外形に気を付けたらよいことを学習をしたことをふりかえる。 ○めあてを確認する 「かたちにきをつけてかこう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを用い、ひらがなに図形を当てはめて提示することで、外形には正方形、長方形、三角形の形があると気づきやすくしている。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の外形を見て、どの図形に当てはめて書けばよいかを考える。 ・外形に気を付けて漢字の練習をする。 ○ペアで友だちの文字を見て最も整っているものを撮影し、良い点を交流する。 ○全体交流し、どういところが良いかを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントでいくつかの漢字を一覧で提示すると、比較しやすく、それぞれの文字を外形に当てはめることで、その特徴に気づきやすくなる。 ・撮影の活動を通して文字を書くときに外形を改めて意識することや、どこがよかったのか交流するきっかけとしている。 ・教師が iPad で撮ったものを AppleTV でテレビに映し出すことで児童が話している文字を即座に映し出すことができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のふりかえりをする。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：漢字の外形について確認している場面



写真2：友だちの書いた文字からよいものを選んで写真を撮っている場面



写真3：撮った写真のどこがよかったのか、全体交流している場面

児童生徒の反応や変容

- ・1年生でもカメラで撮ることは比較的簡単にでき、技能的な課題はなく、文字のどの部分がよかったかの交流ができていた。
- ・カメラで撮った画像を見ながら文字の外形について友だちに説明している児童もみられ、交流する手立てとして活用できていた。
- ・板書と併用してパワーポイントを活用することで、児童が集中して考えることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「友達の書いた文字でいちばんよいものを1つ選んで撮影する」という活動から、めあてを意識することができ、次の活動であるペア交流につなげることができた。
- ・単元を通して、撮影した文字をファイリングすることで、自分の書いた文字の変化を実感し、自己の成長を知ることができる。